

省エネ診断実施例

岐阜市北市民健康センター

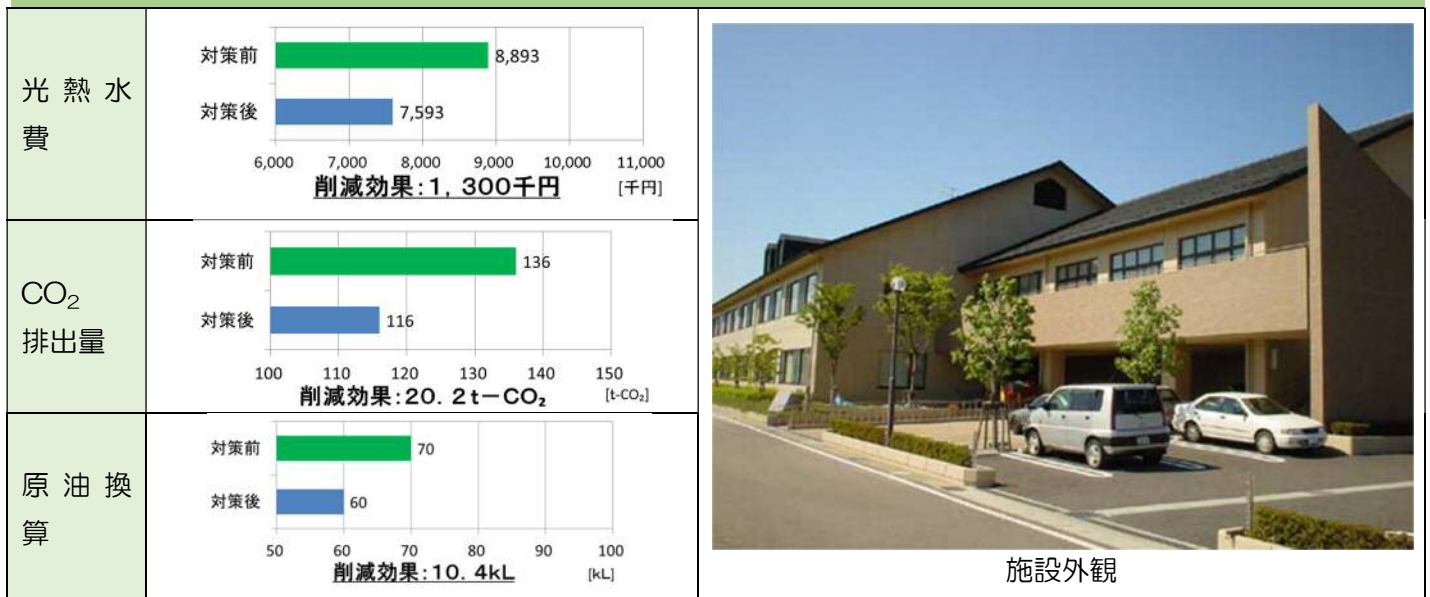
◆ 診断内容の要旨

- 投資不要な運用の改善によって、年間約12万円の光熱費(CO₂排出量：2.1t-CO₂)の削減が見込まれる。
- 5年以下の投資回収期間で実施できる対策によって、年間約41万円(CO₂排出量：4.7t-CO₂)の光熱費の削減が見込まれる。

◆ 主な改善提案

改善提案項目	改善提案内容	削減額 [千円]	投資額 [千円]	回収年 [年]
1.排気ファン停止による空調負荷の低減	トイレ等の換気ファン運転時間の適正化	97	—	—
2.エアコン室外機のクランクケースヒータの電源遮断	空調不使用時のクランクケースヒータ(潤滑油を加熱するためのヒータ)の停止	23	—	—
3.ロビー及びサービス天井照明のLED化	蛍光灯からLED灯への更新(既設器具のフレーム使用)	265	680	2.6
4.デマンド監視装置の導入	見える化導入と契約電力低減	140	400	2.9
5.温水配管の保温	温水ボイラの配管及びバルブの保温	5	20	4.0
6.高効率空調機への更新	導入後18年経過している既存の空調機を高効率空調機に更新	455	10,000	22.0
7.温水ボイラの更新	導入後18年経過している温水ボイラを効率の高い製品に更新	227	3,000	13.2
8.センター事務所天井照明のLED化	蛍光灯からLED灯への更新(既設器具のフレームも交換)	88	900	10.2
合計		1,300	15,000	—

◆ 削減効果の見込み



◆ 他にも適用できる施設例

- 空調機や温水ボイラの経年劣化が進んでいる施設
- LED照明やデマンド監視装置が未導入の施設など

◆ その他の効果

- デマンド装置導入による見える化を用いて、より詳細なエネルギー消費動向の把握が可能となり、更なる省エネの可能性はある